

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス ひだまり			
○保護者評価実施期間	令和8年1月28日 ～ 令和8年2月4日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日 ～ 令和8年2月7日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校や相談支援事業所等関係機関との連携を密にして情報共有し、よりよい子どもの支援をしています。学校での子どもの様子を見るために訪問しています。 保護者と支援方法の面談や子育て等の相談を受け、保護者の負担をできるだけ取り除けるような機会を設けています。	保護者の承諾を得たうえで、学校とは頻繁に連絡を取り合い子どもの支援について話し合っています。必要に応じて学校へ出向き、管理職も交えて支援について話をしています。子どもの様子や保護者のことで気になることがあるときは、随時面談等を行っています。	今後も更に関係機関との連携を深め、より質の高い支援をしていきます。 今後も気持ちの上で保護者負担が軽減できるように支援していきます。
2	保護者との連携やコミュニケーションが充実しています。	日々の子どもたちの様子を、保護者LINE及び送迎時に保護者に伝えたり、モニタリング時や来所時に情報共有を行うことで、職員と保護者との信頼関係を深めています。保護者限定でその日の様子を写真や動画で発信しています。	次年度は、事業所の開放日を設け、子どもたちの様子や関わりをいつでも生で見てもらえるように努めます。
3	子どもたちが安心感を持って、楽しみを感じながら通所できる環境づくりをしています。	職員全員が子どもたち全員の特性を理解し、すべての子どもの支援に関わることができるように取り組んでいます。子どもたちにとっては相談できる職員がたくさんでき、子どもたちの判断と一緒に活動する職員を選択できる環境となっています。	施設内での活動について子どもたちが自己選択・自己決定できる環境を作ることで、これからも子どもたちが安心感や楽しみを感じられる場づくりに取り組みます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族も参加できる研修会や情報提供の機会が行われているか。	様々な特性の子どもたちに利用いただいており、また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討の必要があると考えています。	各家庭や子どもの個別の課題感や支援については、随時メールや電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の機会を設けて課題に合わせた情報提供やアドバイス等を行っていきたいと考えています。
2	放課後児童クラブや児童館等との交流や地域の他の子どもと活動する機会が不足していること。	放課後等デイサービス以外での集団活動に参加できない子どもたちが多く、他での活動に負担を感じることもあるかと思います。特性を考えて負担を感じないような交流の機会を提供していきたいと考えています。	地域の様々な世代の方々と交流できる活動の機会を提供できるよう検討します。。
3	保護者間の交流や会などの開催が出来ていない。	働き方改革の問題や時間の調整が難しくできていない。	年1回でも開催できるよう時間を調整して計画していきたいと考えています。